

地域との取組みがスタート「夜空に輝く鯉のぼり」

平成国際大学は、武蔵野銀行との地域活性化の取組みとして「夜空に輝く鯉のぼり」プロジェクトを実施しました。

このプロジェクトは、2019年6月11日に武蔵野銀行と平成国際大学が緊密な連携の下、相互の資源活用を図りながら、地域社会に貢献することを目的としました。



2020年4月に鯉のぼりの案が上がりましたが、新型コロナウイルスの影響で実施ができず、延期を余儀なくされました。コロナが一定の落ち着きを見せた今年の2月に再スタートをし、多くの企業からの協賛を仰ぎながら、今年の6月から鯉のぼりを大小3体ずつ（大7m小5m）製作がスタートをしました。鯉のぼりには、蛍光塗料を使い、ブラックライトを使用することで、夜空に輝くしかけを施しました。鯉のぼりの展示期間は7月22～25日まで加須市内の3カ所で、加須市役所と加須市商工会の2カ所は4日間、武蔵野銀行加須支店は2日間（22・23日）の日程でした。

もらった感動を校友会メンバーにも



校友会会長 高井 勝弘

新型コロナウイルスの影響で会員同士の直接的な交流が行えない状態が続いております。すでにワクチン接種が始まってきておりますが、今なお収束の目途が立っていない状況でもあります。しかし、このような状況でしたが、日本

では1年延期となりました東京五輪が、57年ぶりに開催されました。この大会に卒業生の安藤美希選手がウエイトリフティング女子59kg級に2大会連続出場をし、大学開学以来初の銅メダルを獲得しました。メダルまでの道のりは険しい、母校での練習中に、右膝にケガを負ってしまいました。大会では、130kg以上を挙げての金メダルを目指していましたが、ケガのため作戦を変更し、メダル圏内の120kgに標準を絞り臨みました。試合は、思い通りに進み、その結果3位に食い込みました。

安藤選手が銅メダルを手にした時には目頭が熱くなり大変感動しました。また、母校初の快挙に興奮し、安藤選手に届くべしという声で応援しました。東京五輪後もコロナ禍の収束がまだ見えませんが、最近ではネットワーキングが進み、オンライン会議主流となっています。校友会もこれを利用して卒業生の皆さんとネットワークで繋がり、意見交換ができる場を設けていき、縦横につながりを持ち、卒業生同士の活躍の場となるようにしていきたいと考えています。



学校法人 佐藤栄学園
平成国際大学 校友会会報

英知

第12号

2021年9月発行

令和3年度春学期

平成国際大学 学長 柏木 俊彦



令和2年度の春・秋の両学期に続き新型コロナウイルスが収束しないままの状況で令和3年度の春学期を終えることになりました。そのため、今年度春学期もオンライン授業を全面的に授業にすることはできませんでしたが、オンライン授業には、教室という物理的制約から解放された学習という側面もあり、学生にとりましては、通学時間がかからない、自分のペースで学習ができるといったメリットも生じているようです。しかし、コロナ禍が年度を超えて続きますと、入試、大学祭、就職支援、卒業式等学校運営の多方面に亘って影響がでます。更に、学びの質保証の維持はあくまで必要とされますので、対面授業を前提とした学びのルールをどこまで修正できるのかという避けがたい課題が多く生じてきます。

やはり、本学としては、対面による学生と教員や学生同士の議論や肌感覚の触れ合いを戻すためにも、秋学期における対面授業再開を期待したいところでです。

卒業生の活躍を喜ぶたい



校友会顧問 法学部教授 浅野 和生

一年遅れて無観客で開催された「TOKYO 2020」で、女子ウエイトリフティングの安藤美希選手が銅メダルを獲得した。本学卒業生初の快挙である。二度目のオリンピック出場でのメダル獲得を心から喜ぶたい。ところで、今回のオリンピックでは、多くのメダリストが、困難な中でのオリンピック開催に感謝し、合わせて多くのスタッフの支援に感謝を表明していた。実は、本学のウエイトリフティング部員は、会場スタッフとして参加していた。そのほかにも、女子柔道部員は、会場スタッフとして参加していた。他にもあるに違いない。つまり、表舞台で活躍した卒業生がいた一方で、裏方で支援した現役学生がいた。小規模大学の平成国際大学が国家的イベントの一翼を担っていたことを喜ぶたい。本学も開学から満二十五年を経て、少なくない卒業生をさまざまな業界、職種に送り出してきた。残念なことに、卒業後に大学との連絡が切れてしまふ卒業生が少なくない。したがって、知らないところで活躍している多くの卒業生がいるに違いないのである。オリンピックのメダリストは特別だろうが、各業界、職種で活躍する姿を、大学教職員としてはぜひ知りたいと思う。それぞれの場所での、それぞれの輝きを教えて欲しいと切望する。自薦他薦で教えていただき、その活躍をともに喜びたいものである。